

第14回 こころの健康電話相談 —ご報告—

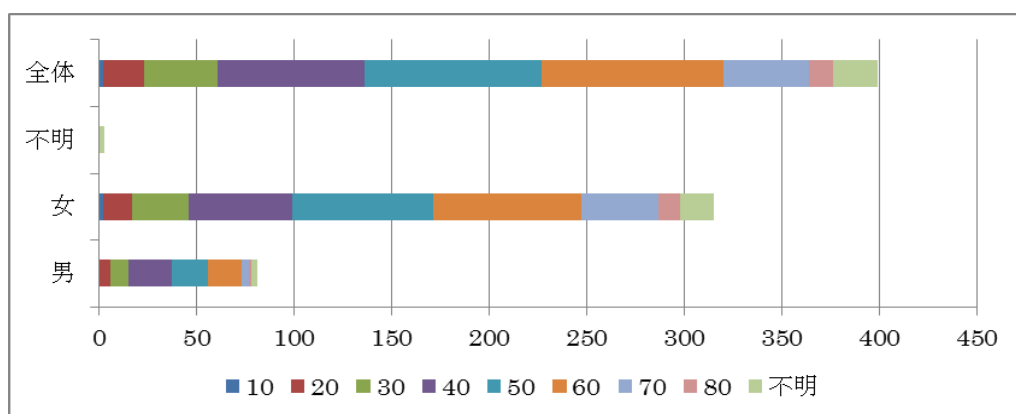
平成25年1月27日（日）に日本臨床心理士会と38都道府県の臨床心理士会の共催で第14回「こころの健康電話相談」を行いました。



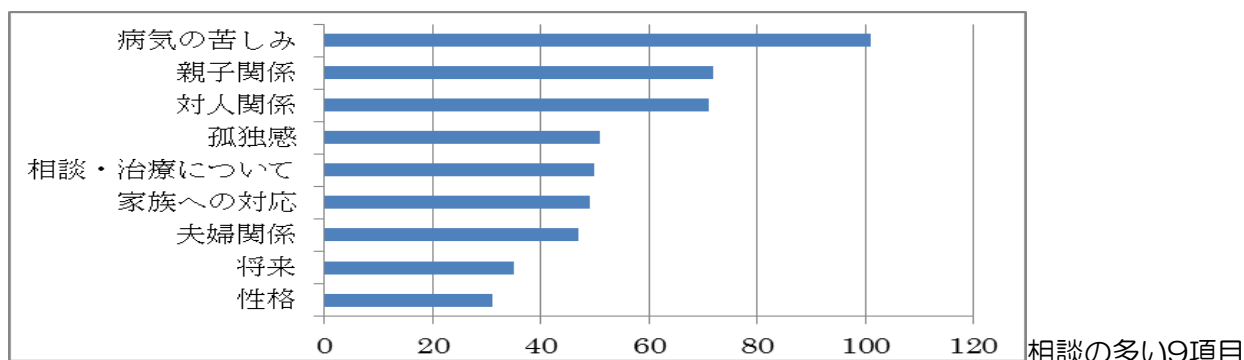
当日は、総数399件のご相談をお受け致しました。

ご相談者のおよそ8割は女性でした。

ご相談者は40代～60代の方が多く、合わせて65%になります。また、70代以上の方のご相談も多く、14%（約60件）お受けしました。



ご相談される内容では、今年も病気の苦しみ、親子関係・対人関係・夫婦関係についてのご相談を多くお受けいたしました。



全体では、次のような内容が多く寄せられました。

- ・ご自身やご家族の病気療養が長く続いており、様々な不安がある。
- ・病気や悩みで苦しんでいる家族にどう接してよいかわからず、悩んでいる。
- ・子どもとの関係、職場や友人との関係がうまくいかず、苦しい。

前回と同様に、初めて相談電話をされた方が4割近くいらっしゃいました。

お気持ちに寄り添いながら、問題を乗り越えるための方法をご一緒に考えるという形で、お力になれることを願っております。